

研修ニュース

〒518-0814

三重県伊賀市上友生 785 番地

Tel&Fax 0595-21-8839 E-mail iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 郷土教育

【講義①】「『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』について」

【講師】村田 智美（伊賀市上野図書館）

【講義②】「郷土教育教材『伊賀のこと』の活用事例について」

【講師】松田 久司（伊賀市教育委員会事務局文化財課）

2月3日（月）、講師に伊賀市上野図書館の村田智美さんと伊賀市教育委員会事務局文化財課の松田久司さんをお迎えし、研修講座「郷土教育」を実施しました。

はじめに、村田さんより『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』についてご紹介いただきました。『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』は、「芭蕉と俳諧の世界」「伊賀流忍者」「伊賀市の文化財」など5つのテーマから構成されており、郷土資料や文化財をインターネットから見るができるもので、「子どもたちに伊賀のことをもっと好きになって、伊賀のことを誇りに思ってもらいたい」という思いのもと作られたものです。このデジタルアーカイブの良いところは、古文書や絵図などの資料について実際の物をまるで手にとって見ているかのように鮮明に見ることができます。また、遺跡や古い建物などについては、地図や写真とともに詳しく解説が書かれています。まだ、見られたことがないという先生方は、タブレットのL-GATE内にあり、この機会にぜひ子どもたちの学習に活用ください。

次に、松田さんより郷土教育教材『伊賀のこと』、『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』の活用事例についてお話しいただきました。初めに「伊賀市は、文化財の宝庫と言われているように、約 506 件の文化財があることを知り、身近に文化財があることを感じてほしい」という話から、伊賀市の身近にある文化財についていくつかご紹介いただきました。伊賀市の文化財や歴史を知り、教科書に出てくる人物や文化財と絡めて学習を進めたり、伊賀市の特産物・文化・地域の内容から調べ学習や体験学習につなげたりすることができることを学びました。



アンケートより 【一部抜粋】

・私は、伊賀のことをまだまだ知らなかったため、自分自身が知れる良い機会となった。身近な文化財が校区にもあること、伊賀は三重県でも文化財が多いことを子どもたちと共に学習していきたくと思いました。そして、「自分の校区ってすごい」「伊賀ってすごい」と子どもたちが感じられるようにしていきたいです。（小）

・現地フィールドワークにいきなり行くことは難しいからこそ、デジタル教材やデジタルコンテンツを使いながら歴史を学ぶことは非常に有用だと思いました。郷土史に関わる知識がそれほど多くないので、まず自分自身がそこに訪れて、見たものを生徒に伝えるところから始めてみようと思います。（中）